

平成23年度鎌ヶ谷市男女共同参画推進懇話会第2回会議録

日 時 平成23年10月6日（木）午後1時30分～
 場 所 鎌ヶ谷市役所6階 第1・2委員会
 出席委員 内海崎委員、平田委員、三原委員、田中委員、平林委員、秋元委員、
 竹内委員、坂本委員、長池委員
 欠席委員 なし
 事務局 清水市長、山口市民活動推進課長、川名男女共同参画室長、中川主査
 記 録 中川
 傍聴者数 1名

会 議 内 容

- 委員の交代があり、会議に先立って委嘱状交付式が行われ、清水市長から各委員に委嘱状が交付された。
- 新任期になり1回目の会議であり、各委員及び事務局自己紹介。
各委員の自己紹介は以下のとおり。

委員氏名	自己紹介内容
内海崎 貴子委員	<ul style="list-style-type: none"> ・川村学園女子大学で、保育者・教員養成をしています。 ・鎌ヶ谷市で、卒業生が保育所・幼稚園・小学校で働いています。非常に環境の良いところで、お子さんとの関わりもとても楽しいと聞いております。 ・微力ですが、力を尽くしていけたらと思っています。
平田 真裕美委員	<ul style="list-style-type: none"> ・かがやきプランの策定では鎌ヶ谷市国際交流協会という団体から参加をしました。 ・自分の視点・団体の視点から意見を述べさせていただきました。今回は、そこで勉強したことで何かお役に立てればということと、娘が2人いるのでそういった点からも何かお力になればと思い応募しました。
三原 紀代委員	<ul style="list-style-type: none"> ・公募による市民として参加しました。 ・こういった委員になるのは初めてなので、皆さんのお話をよく聞いて勉強させてもらいたいと思っています。
田中 誠次委員	<ul style="list-style-type: none"> ・人権擁護委員から参加しました。 ・人権擁護委員の目から見た懇話会のお話を勉強したいと思います。
平林 光江委員	<ul style="list-style-type: none"> ・鎌ヶ谷市商工会から参加しました。 ・初めての参加なので色々勉強したいと思います。

秋元 孝男委員	<ul style="list-style-type: none"> ・鎌ケ谷ミモザの会から参加しました。 ・こういう席は初めてなので、皆さんの意見をよく聞きながら勉強させてもらいたいと思います。
竹内 春美委員	<ul style="list-style-type: none"> ・鎌ケ谷市生涯学習審議会から参加しました。
坂本 健委員	<ul style="list-style-type: none"> ・鎌ケ谷市校長会を代表して参加しました。南部小学校の校長です。 ・学校現場のことで何かお役に立てればと思います参加させていただきました。
長池 京子委員	<ul style="list-style-type: none"> ・鎌ケ谷市民生委員児童委員から参加しました。 ・2期目ですが、「もう1回」と言われ来ました。 ・民生委員ということで幅広く皆さんの力になれたらと思います。

1 男女共同参画推進懇話会について

※会長が選出されていないため、進行は事務局

(1) 会長・副会長の選出

(事務局)

新任期第1回会議ですので、会長・副会長の選出をお願いします。どなたか立候補または推薦のある方はいらっしゃいませんか。

(A委員)

前回の会長である内海崎さんをお願いしたいと思います。

(B委員)

鎌ケ谷市男女共同参画関係団体のミモザの会からいらしている秋元さんはいかがでしょうか。男性であり、そういったことに非常に関心があるということで男女の視点が盛り込まれると思うのでいかがかなと思いました。

<結果>

内海崎委員が会長、秋元委員が副会長に選出された。

○ここで、内海崎会長、秋元副会長から挨拶。

○以降は会長が議長。

(2) 会議録署名人の選出について

(事務局)

この会議は、会議録の公開を行っております。公開する会議録には委員お二人に署名をいただいております。慣例ですと、名簿順に2名となっておりますので、平田委員と三原委員を今回の署名人としてご提案させていただきます。

(会長)

ご異議がなければ、平田さんと三原さんに会議録の署名人をお願い致します。

<結果>

異議なく、平田委員と三原委員が会議録署名人に選出された。

2 鎌ケ谷市男女共同参画推進懇話会について

(事務局)

資料により説明

(会長)

次回までに施策評価と事業評価についての資料をご準備いただくということですが、それは具体的に評価基準や評価表をご準備いただけるということですか。

(事務局)

そうです。突然検討はできないので、今までのやり方をご提示させていただくのと、他市の参考事例を資料として準備します。前回214事業あり、どれをどうやって評価したら良いのかというのがあったので、もっと分かりやすい評価の仕組みを考えていかなければいけないということが前回からの懸案事項でもございました。次回の会議では、その点を改めて細かく説明させていただきたいと思います。

(会長)

新しい委員さんもいらっしゃいますので、これまでの評価の仕方と他市の例ということで東葛ですと松戸・柏・流山・我孫子それぞれの独自の評価方法をやっておりますので、できる限り集めていただきたいと思います。他市の事業評価がオープンになっているものがありますので、少し関心を持たれてご覧になっていただけるといいかなと思います。

3 鎌ケ谷市における男女共同参画の取り組みについて

(事務局)

資料により説明

(会長)

ただいまの説明にご質問等ございますか。

(C委員)

計画書の20頁の「男は仕事、女は家庭」ですが「どちらかといえばそうは思わない」と「そうは思わない」合わせるとあまり変わりはないが「そうは思わない」というのが13年と比べるとはっきり20年は増えていますね。はっきりとした意思・考えが出てきたということは評価していいのではと思いました。

(会長)

「そうは思わない」という方の割合を見ると17.6%から29.1%に増えたのでこの点は評価しても良いのではというご意見ですね。確かにそうですね。

4 男女共同参画学習会について

(事務局)

今回新任第1回会議ということですので、男女共同参画についての基本的な問題についての研修とさせていただきます。講師は会長の内海崎先生にお願いしております。

(会長)

議題はこれで終了ですが、何かご意見・ご感想があればどうぞお願い致します。

(B委員)

10月1日・2日の鎌ケ谷市の事業仕分けでセンターについて項目が挙がっていてホームページでは見たのですが、事業仕分けでどのようなご意見があったのですか。

(事務局)

お配りした資料に「事業仕分け結果」を入れています。事業仕分けに掛かったのは「男女共同参画推進センター」部分で、男女参画がそもそも必要かどうかではなく、その事業が効率的・効果的に行われているかどうかという視点に基づい

て仕分けるというものです。そこにありますとおり市民評価委員の仕分け結果は、「市（要改善）」と「市（現行どおり）」に三票ずつということになります。

仕分け人は参考というかたちで判定していますが、全員「市（現行どおり）」となっています。コーディネータが、「市（現行どおり）」というのは初めて見たと言われました。それは、推進懇話会でのご意見あるいは今まで市民の方が携わって作ってきた計画がきちんとしたものであった、それを効率良く実行してきた、からこそということで感謝申し上げます。市民評価委員の評価が「市（要改善）」と「市（現行どおり）」になっていますので、今後皆様と検討していきたいと思っております。

(C委員)

事業仕分けを傍聴しました。仕分け人の方の意見が「現行どおり」と一致したのは珍しいことだそうです。説明が的確であったことはさることながらそれまでの計画がしっかりできていたのかなと思いました。鎌ヶ谷市の男女共同参画が進んでいないからセンターの管理・運営についてもまだまだ民間に委託することができないというような説明があったように思いますが、それを受けて仕分け人の方が質問をしたのは「鎌ヶ谷市の男女共同参画が進んでいない理由は何だと思いか」それについては男女平等の意識が低いというような受け答えがあったように思いますが、「意識が低いということを認識した上で事業施策を立てているのか」「国や地方自治体も同じことをやっているだけじゃないのか」というような鋭い質問があった。同じ人が最後の方で「女性が管理職になると夫が困るのではないか、夫に負担が掛かる。そのことについてどう説得するのか」というような質問が出たことにどうしてそういうお考えになったのかすごくがっかりした。最初の鋭い質問とギャップがあったので、やっぱり本音はそういうところなのかなと。だからこそ一人一人の意識を高めていくというのが、男女共同参画を進めていく上で重要なことだとつくづく感じました。

(会長)

確かに意識を変えていくということもとても大変なことなので、計画の中でこれをやりましょうということやってみると気づくこともたくさんあると思います。意識と制度は車の両輪のようなもので、各自治体でそれぞれ特色あるプランを立てていますが、今回の第三次の国の基本計画と比較しても「かがやきプラン」は先進的、非常に成果があったと思いますし、安心・安全のまちづくりというところも国よりもきちんと盛り込んでいます。第三次基本計画では男性の男女共同参画、子どもの頃からの男女共同参画ということで、私は教育が専門なので教育に関する項目を見ますと、幼児から生涯学習の高齢者の方まで含めてそれぞれの項目の中に丁寧に教育のことが散りばめられてしっかり入っています。かがやきプランも教育の中に職員研修も含めてしっかりと入れているところを見ますと、仕分け人の方がどこまで国の計画をご存知で質問されたのか分かりませんが、これからこの計画をしっかり実行していくことによって制度が変わると気持ちも変わってくるということがありますのでそこを一つずつ丁寧にやっ

(A委員)

計画書の27頁の男女平等と思う人の割合ですが、他は徐々に上がってきていますが、やっぱり職場は厳しいんでしょうか。

(会長)

職場と家庭生活ですね。このあたりも色々なところで講座を開いて地道にやっ

きましたしね。男女関わらず若い世代の就労も難しくなっている面と、男性の中での格差、女性の中での格差が広がってきていますのでそのあたりをどう埋めていくかということ、自治体でできることに限りがありますが自治体だからできることもありますので、丁寧な支援をすることが求められるかもしれません。その際に、男女共同参画の視点が入るといいですね。

(C委員)

男女平等・参画を進めていくには、市役所内部から進めるべきではないかと。市民にばかり啓発せずに内部からという仕分け人からの意見もあったので、なるほどそうだなと。市長がいらっしゃるときに一言言えば良かったかなと。

(会長)

市役所がモデルになるというか市役所の職員さんたちがね。柏市は市の職員さんたちの男女共同参画とハラスメントの研修を定期的にやっています。鎌ヶ谷市でもやっているのかもしれませんがもう一歩進めてもいいかもしれません。

(D委員)

計画書の23頁の夫婦の生活時間のところの男性と女性の家事労働の時間差ですが、数字で表されるとすごく驚いてしまいました。

(会長)

これはずっと変わらないですね。先進国の中では日本は突出して夫の家事労働の時間が少ないです。専業主婦でも共働きでも夫の家事労働の時間は殆ど変わらない。それが現状ですね。

(D委員)

女の人相当がんばらないと社会に出て行けないし男の人よりも他の部分でがんばることが前提というような感じで。他に何か問題がある人、例えば子どもが小さい、ご両親の介護があるという人は社会に関わることはできないというような感じになってしまうので、数字で表されて本当にびっくりしました。

(会長)

今日の資料には夫婦の生活時間のデータの一部しか載っていないのですが、内閣府のホームページには夫婦の生活時間、国際比較も載っています。日本が共働きでも専業主婦でも女性に家事・育児・介護の負担が掛かっているという事実をデータで見ることができます。

(E委員)

私は学校現場で働いていますが、27頁の表の「学校教育」というのは学校現場で働いている職員にとった数値でしょうか。外から見た学校教育に対するものでしょうか。

(事務局)

市民の方が学校教育は平等なんだろうというデータということですよ。

(E委員)

分かりました。家庭生活も職場についても外から見たデータということですね。

(事務局)

それ以外は自分自身の体験の中でそう思うという部分だと思います。学校教育はそうだろうなというところですよ。

(会長)

国の調査と同じ調査項目ですが、国の調査の仕方は「社会の中で男女平等になっていると思うところはどこですか」というところでそれぞれ場面を設定しています。学校教育は殆どの人が経験している場なので自分の経験も含めながらというかたちで調査をしています。もちろん、中にいる先生方も答えてはいらっしゃ

と思いますが、データの的にはそのようなかたちです。

その他

- ・ 次回の会議は12月頃に開催予定。
- ・ 千葉県男女共同参画推進員については、立候補する方は事務局まで連絡し、他の委員は追認するというかたちとする。

○以上で会議は終了した。

会議録署名人の署名

以上、会議の経過を記載し、相違ないことを証するため次に署名する。

平成23年11月18日

氏名 三原 紀代

氏名 平田 真裕美